

宮城県渋滞対策連絡協議会

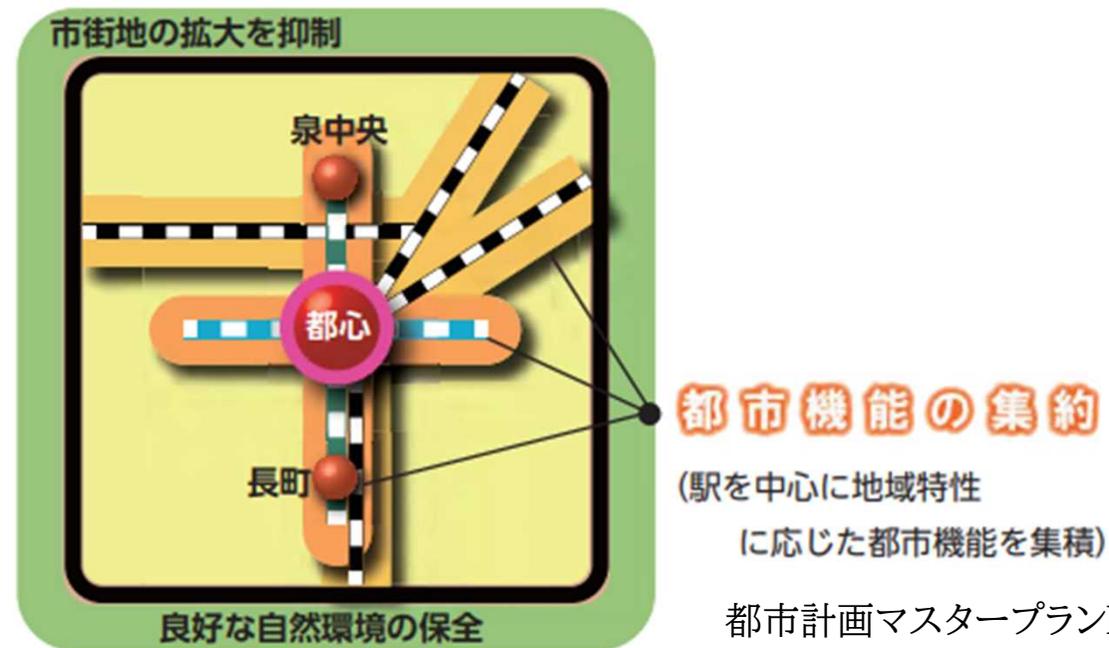
仙台市太白区長町商店街エリアにおける 社会実験について

令和6年8月 仙台市太白区

1. 社会実験の背景

(1) 現状(長町の位置付け)

- ✓ 長町地区は、「仙台市基本計画」及び「都市計画マスタープラン」において本市南部の広域拠点として位置付けており、**長町商店街エリア、あすと長町エリア、長町南エリア**の3つのエリアがそれぞれの地域特性を生かし連携することにより、**高次な都市機能の集積を推進**することとしている。
- ✓ その中でも長町商店街エリアは、商業機能と文化機能が連携した賑わいのある、**歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成**を図ることとしている。

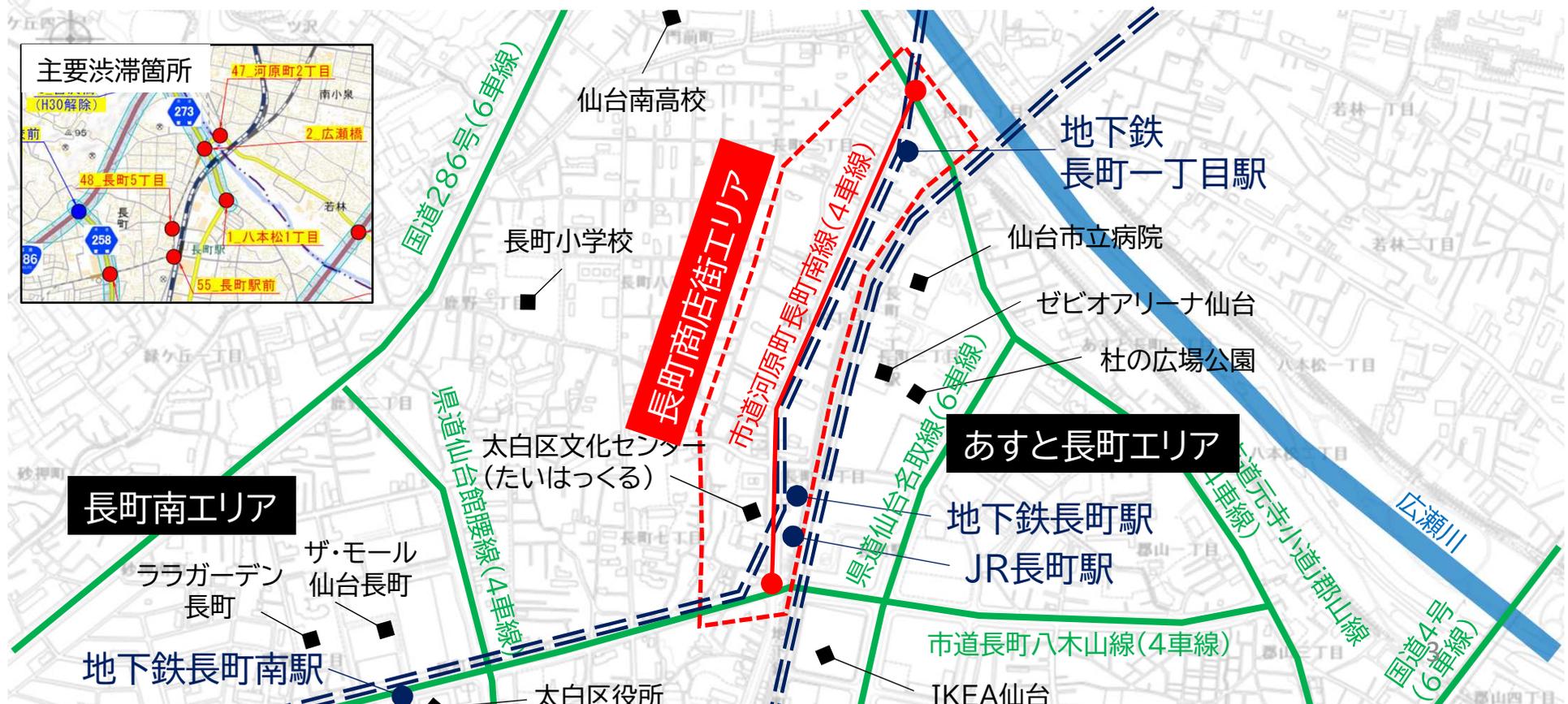


都市計画マスタープランP44

1. 社会実験の背景

(1) 現状(交通・人口等)

- ✓ 長町商店街エリアにおいては、地下鉄長町駅、同長町一丁目駅、JR長町駅があり、多くの人が利用しているほか、6車線や4車線の幅員が広い道路が周辺に複数あり、路線バスも多く走っていることから、**交通利便性に優れている**。
- ✓ 居住人口も多く、仙台市全体と比べて30代前後の子育て世代の比率が高くなっている。
- ✓ **近隣エリアでは、大型商業施設や集客施設等が集積し、多くの人が行き交い賑わい**が生み出されている。

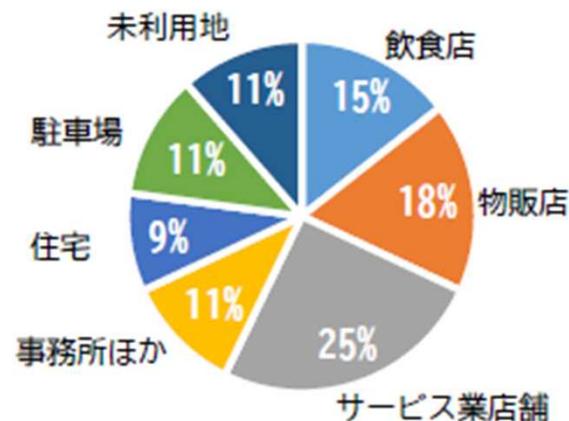


1. 社会実験の背景

(1) 現状(経済)

- ✓ 旧国道4号(市道河原町長町南線)に面した土地の利活用状況は、全体の約7割が店舗であり、青果店や生花店、老舗和菓子店、豆腐店、書店、電器店等、昔ながらの商店街の趣を感じさせる個店が残っており、大手資本によるチェーン店が少ないことが特徴である。
- ✓ 従来は様々な種類の個店で、多くの人たちが日常の買い物や食事を楽しんでいたが、周辺に大型商業施設ができたことなどにより、**旧国道4号沿道の個店数は減り、マンションや駐車場が増えたり、空き店舗や空き地が散見されるようになってきた。**

旧国道4号沿道の沿道利活用状況構成比



出典：調査員による目視確認（令和5年9月29日調査）
（注）建物の1階部分の利活用状況で、店舗か住宅、駐車場または未利用地等に分類している。

1. 社会実験の背景

(2) 地域との取組み(令和4年度~)

【地域との認識の共有】

- ✓ 長町商店街エリアは、**近隣の2つのエリアの賑わいを十分に取り込むまでには至っていない。**
- ✓ 長町地区全体が、今後とも広域拠点として持続的に発展していくためには、長町商店街エリアが、そのメインストリートである**旧国道4号沿道を中心に、より魅力がある街並みに進化し、近隣の2エリアとの連携により、回遊性を高めながら、賑わいを生み出していく必要がある。**



人中心の「歩いて楽しい街並みづくり」

【地域との検討】

- ✓ 事業を地域とともに開始するに当たってのキックオフイベントであるトークセッション
- ✓ 長町商店街連合会や沿道の町内会等の皆様とのワークショップ(8回)
- ✓ 広く地域住民や市民を対象としたシンポジウム

1. 社会実験の背景

(3) 「長町・歩いて楽しい街並みの将来像(ビジョン)」の策定(令和6年3月)

- ✓ 地域との検討を進め、様々なご意見をいただきながら、旧国道4号沿道における街並みの目指す姿や将来のイメージについてまとめた「**長町・歩いて楽しい街並みの将来像(ビジョン)**」を令和6年3月に策定。



ワークショップの様子

【目指す姿】

目指すまちなぎ 新しくて懐かしい 心躍る触れ合いのまち ナガマチ

目指す通りの姿 歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

【将来の街並みのイメージ】

安心して歩きやすい街並み
大人にも子どもにも、昼夜を問わず安全安心な通り。
思わず歩き出したくなる、人中心の誰にでもやさしく快適な空間をつくります。

心地良い時間(とき)を過ごせる街並み
気軽にゆったりとくつろぎ、休んだり会話を楽しんだり思い思いに過ごせる通り。
ゆっくり滞在したくなる、居心地の良い憩いの空間をつくります。

賑わいがあり心躍る街並み
一人でも楽しい、誰かと一緒ならもっと楽しい、いつも魅力と発見がある通り。
いつ訪れてもワクワクしながら街歩きが楽しめる、活気のある空間をつくります。

個性的な触れ合いのある街並み
古くからの歴史と新しい文化・人が融和する、長町らしさを感じられる通り。
様々な人の関わり合いを通して、親しみと情緒を感じられる交流の空間をつくります。

皆で一緒に魅力を育てる街並み
住んでよし訪れてよし、魅力的なメインストリートとして皆でつくる通り。
いつまでも愛され受け継がれる、様々な人が関わり魅力を高める協働の空間をつくります。

まち探検 まちゼミ料理教室 公共物維持管理
長町まちづくり協議会

1. 社会実験の背景

(4) 将来像(ビジョン)の実現に向けた課題

【将来の街並みイメージ】

○安全で歩きやすい

安全・安心な通行

○心地良い時間を過ごせる
○賑わいがあり心躍る

滞在性・賑わいの創出

空間の確保が
必要



歩行者と自転車が混在している状況

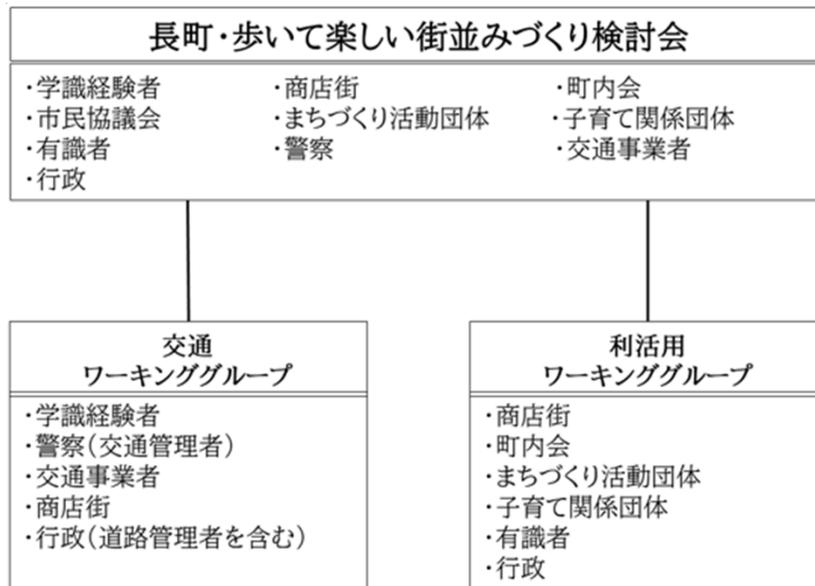
【道路空間の整備に関する課題】 ビジョンP16

- ✓ 道路空間の整備にあたっては、子ども、高齢者、障害のある方等、誰もが安全安心に回遊できるよう、様々なご意見を伺いながら、例えば、**歩行者、自転車、自動車等の安全な動線分離**やユニバーサルデザインなどの検討が必要。
- ✓ 歩道拡幅のための車線減少や道路・歩道空間の活用においては、**交通渋滞の抑制、バス停・タクシー乗降所や運送車両荷捌きスペースの確保、緊急車両の円滑な通行、路上駐車車両の抑制、歩道拡幅に伴う既存路上設置物の移設・再整備**などの課題がある。

1. 社会実験の背景

(5) 官民連携推進組織の設置

- ✓ ビジョンの具体化に向け、地元の商店街振興組合や町内会、沿道利用事業者・団体、警察、有識者、庁内関係部署などで構成する官民連携の検討組織「長町・歩いて楽しい街並みづくり検討会」を令和6年6月に立ち上げた。



第1回検討会の様子

- ✓ 社会実験を実施し検証を行いながら、基本計画の策定に向け継続的に会議を実施していく。

2. 社会実験の概要

(1) 目指すべき姿

目指す
通りの姿

歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

ビジョン P11

(2) 目的

目指す通りの姿の実現に向けて、空間利活用のあり方と空間創出の可能性を検証する。

どう使うか？

空間利活用のあり方
を検証

×

どう整備するか？

空間創出の可能性
を検証

2. 社会実験の概要

(3) 概要

長町駅前交差点から広瀬橋交差点までの市道河原町長町南線において、車中心の道路から歩いて楽しい人中心の道路空間として再生させるため、車線を減少させ、歩道や路肩等を活用した社会実験を行う。

実験の範囲



パークレット設置のイメージ



キッチンカー設置のイメージ

定禅寺通活性化事業
(R3年度大規模社会実験)

2. 社会実験の概要

(4) 実施内容(案)

①車線減少

実施概要 : 安全安心な歩行空間や賑わい創出空間の確保に向けて、車線の規制を行う。

周知方法 : 社会実験のチラシを作成し、市ホームページ等で告知するほか、道路上に迂回をお願いする看板等を設置する。

調査内容 : 周辺道路も含めた交差点交通量等を調査し、影響を評価する。

②自転車通行帯の設置

実施概要 : 車道の規制を行い、新たに生まれた道路空間(路肩等)に自転車通行帯を設置する。

周知方法 : 社会実験区間内に自転車通行帯設置のお知らせ看板や警備員による誘導等を行う。

調査内容 : 自転車専用通行帯の走行状況及び歩行者の安全性を調査する。

③滞在性向上・賑わい空間の設置

実施概要 : 道路に規制を行い、新たに生まれた道路空間(路肩等)に休憩・滞留スペース、移動店舗、パークレットなどを設置する。また、歩行空間の一部を活用し、賑わい創出の取組みを実施する。

周知方法 : 社会実験のチラシを作成し、市ホームページ等で告知する。

調査内容 : 人流調査や出店者・利用者の状況を調査する。

3. 今後の予定

令和6年度と令和7年度に社会実験を予定しており、
実験・検証を繰り返し、道路の再整備方針を検討する。

